

A black and white close-up portrait of a man with dark hair and glasses, looking slightly to the right. The image is the background for the entire page.

SEMI
PRO

09 

YOSHIKAZU ARAI
FILE NO.03

I'M NOT PROFESSIONAL
BUT, I HAVE A POLICY

SEP
2013.

This month's keyword

『サブカルチャーイーター』



I'm NOT Professional, BUT I Have a Policy

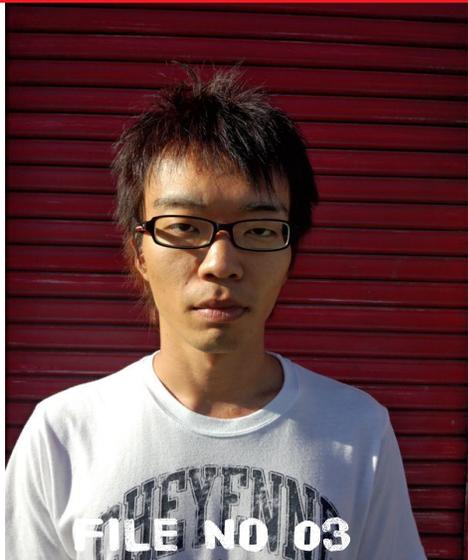
what's semipro?

素人以上プロ未満

好きだから、こだわりがある。

素人だからこそ言える事もある。

常識に縛られない表現の形。そんなあなたは立派な SEMI PRO



今回はジャパニーズサブカルチャーイーターのセミプロ、新井祥一(よしかず)さんです。

(サブカルチャーイーターとは、WEBなどで人作品をオススメするなどのアウトプット行為をせずにサブカルチャーを楽しむ人々です。ちなみにサブカルチャーイーターのプロと言うのは、たとえば、自宅にホームシアターなどを置いて楽しむ様子をテレビなどで紹介することによって利益を得る著名人達を指します。)

インタビュー チャーシュー長島
こんにちは。よろしくおねがいします!
では、サブカルチャーイーターになるきっかけからよろしくおねがいします。

そうですね。音楽はGLAYの『口唇』からです。『口唇』は自分で初めて買ったCDでもあり、その後HOWEVERなどを楽しんでいきました。GLAYでは、特にHOWEVERが好きで、一般的にあまり知られていない名曲が

『May Fair』

ですね。

他にはどんなバンドを聴きますか?

音楽は幅広く聴くのですが、GLAYを始めとして、Bz・Mr.Children・ビーンク系全般(特にDEEN)とか、ゆずやさだまさし、ジャーニスやAKBも聴きます。JPOPと言われる全般が好きですね。

最近のバンドでは、どんなバンドが好きですか?
SEKAI NO OWARI(セカイノオワリ)ですね。
特に『虹色の戦争』が好きです。

音楽を聴く時は、どんな機器使ってますか?

WALKMANです。家ではWALKMANのFシリーズについてくるスピーカーを使って聴いています。昔はiPodの第五世代も使っていました。

最近の音楽に関するエピソードで悲しいことがあったとか?

最近同棲する予定で結婚も考えていた彼女と別れてしまい、なぜだかその後、安室奈美恵の『CAN YOU CELEBRATE?』を激しく聴いてました。

僕は良く踊りますが、映画だとなりが好きですか?
『カイジ』と『踊る大捜査線』が一番好きですね。

もしかして、友情漫画とか好きですか?

『ONE PIECE』『幽々白書』『るるろに剣心』
『今日から俺は』が好きですね。

アニメも友情が熱いですか?

『ONE PIECE』『幽々白書』『ドラゴンボール』が好きですね。漫画アニメの中で特に『ONE PIECE』が好きで、フィギュアとかも集めてましたね。今は弟にあげてしまいました。

ジャパニーズドラマ好きと聞きましたが?

ドラマはですね、木村拓哉さんのドラマ『ビューティフルライフ』ではまりまして、それ以降は木村拓哉さんのドラマはよくチェックしてますね。主題歌視点で行くと堂本剛さんの『街』

『街』

が主題歌だった『夢のカリフォルニア』が大好きです。他に好きなドラマは、同じく堂本剛さんの『青の時代』『若葉のころ』ですね。

そういえば、ドラマでなにか人生を変えたエピソードがあるとか?

実は、自分の将来の進路を決意させたドラマがあるんです。それが、

『パンビ〜ノ〜!』

『パンビ〜ノ〜!』を観て、イタリア料理人に憧れて、イタリアンレストランに入りました。その仕事、ずっと頭の中には『パンビ〜ノ〜!』の主題歌『We can make it!』が流れていましたね。

残念ながら、色々あって、そのレストランはやめました。最近、また調理の仕事を始めました。

じゃ、今後の目標と云いますと?
料理人になることです。

行田市出身の新井さん、行田のおすすめグルメポットは?

行田だと馬車道とラーメン屋さんのおおぎや(味噌ラーメン)がオススメです。

長く熊谷で働いているそうですが、熊谷のおすすめグルメポットは?

熊谷だとグルメはPDCがオススメです。あと、森林公園のサイクリングが良いですね。特に下り坂を下りる時の風が最高です。

最後にあなたにとってサブカルチャーとは?

『癒し』

ですね。

ありがとうございます!

現代はキュレーションの時代なんだそうである。これだけ、情報が入り乱れる時代になると、その情報を交通整理し、まとめてくれるキュレーターが存在するようになってくる。

そんなキュレーションの時代において、純粋に単独で作品を楽しむユーザーの存在はこれからはますます希有になってくるだろう。

だが、そんな純粋なユーザーが一番重要なファンであることは明らかな事実である。

そんなファン達を楽しませられ、満足させられる事がこれからクリエイターにとって、大切なファクターになってくるだろう。

YOSHIKAZU ARAI's CHOICE もてソング

kinki kids
『もう君以外愛せない』

GLAY
『HOWEVER』
『Way of Difference』

SMAP
『夜空のムコウ』

サスケ
『青いベンチ』





cloud nine



2013.09



CLOUD NINE

DEGITAL BOOK MAGAZINE

SEMI PRO

BEARCANION PUBLISHER
KUMAGAYA, JAPAN